

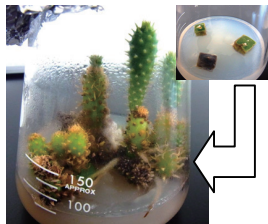
# 園芸作物の生産性向上のための生理学 (食用サボテンの生産性向上と地域活性化)

講師 堀部 貴紀  
HORIBE Takanori



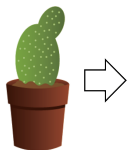
応用生物学部 環境生物科学科

## 生産性向上技術の開発 遺伝子組換え技術開発



## 新品種の育種

EMS  
イオンビーム



- ・トゲなし化
- ・新しい色や形
- ・斑入り
- ・花の変化
- ・機能性の向上

茎・種子

新形質の獲得

## 本研究の目指すところ -産官学連携による地域活性化-



所得の向上

観光客の増加

後継者の増加

教育面での連携

知名度の向上

新事業への発展

園芸作物の持つ様々な形質について、その仕組みを明らかにし、そこから新たな技術や価値を創造することを目指しています。

現在は特に、春日井市の特産品であるサボテンの新しい栽培法の確立や新品種の育種を目的とした研究を行っています。また地域の生産者や事業者と協力しサボテン産業の振興を目指した活動も実施しています。

そのほかにも、バラの花弁成長機構の解明や、切り花の品質・価値向上技術の開発といったテーマにも挑戦しています。

## 【研究テーマ】

- 食用ウチワサボテンの生産性向上  
春日井市内では現在、サボテン生産の後継者不足が深刻な課題となっています。そこで、より簡易的で収益性の高い栽培法が求められています。本研究では植物工場施設において高度に環境を制御して栽培を行い、生産性・機能性の向上を目指します。
- サボテンの組織培養および遺伝子組換え技術の開発
- 食用・観賞用サボテンの育種（分離育種、突然変異育種）
- サボテンの食用果実生産
- 花の付加価値向上技術の開発

## キーワード

食用・観賞用サボテン、植物工場、観賞用花き

## 相談に応じられる内容

サボテンに関する事象全般、食用サボテンの生産・加工、サボテンの果実生産、植物工場における作物栽培、切り花の品質保持、花弁成長機構

## 独自HP

